

学道一如

発行
小樽双葉高校
生徒会通信
2024年4月12日
第1号

入学式

83名が期待を胸に

4月8日、令和6年度入学式が挙行された。新入生83名は緊張した面持ちで入場したが、呼名されると元気に返事をしていた。不安と期待を胸に高校生活がスタートした。

担任は1組(特進)宮原卓先生(数学)、2組(総進)山田寛先生(体育)、3組(総進)葛西悠太先生(情報)、4組(総進)水澤大地先生(音楽)、学年主任は宮原先生です。

1組担任の宮原卓先生を先頭に入場。



1組の間宮さくらさんが代表で誓いの言葉を宣言。

新入生代表として誓いの言葉を立派に述べた間宮さくらさんにインタビューした。
「小樽市立松ヶ枝中学出身。海外短期留学に関心があり、異文化を知り、視野を広げ、コミュニケーションを取りたい。」と語る。既に英検準2級を取得。ヴァイオリンを習っており、数学が得意。好物はいちごタルト、期待の星だ。

スノーボードカービング 齋藤泰知くん(3-3) 全国大会出場

チャレンジ奨学生の齋藤泰知くんは1月の北海道スノーボード技術戦大会で一般の部で3位、高校の部で2位に入り、3月の全国大会(田沢湖)に出場した。

スノーボード・カービングの競技はターンの技術を競う。齋藤くんは銭函に住み、地元のスキー場で毎日技術を磨いている。スノーボードは小学2年から8年間続けている。
競技ではロングターン、フリーライディング、グラインドトリックなど6〜7種目の技術を競う。全道大



↑賞状とメダルを手にする齋藤くん
←北海道大会での一般の部での表彰



写真は競技中の齋藤くん。
上達するには、「しっかり考えて、滑る本数を増やす」ことと、あくまで練習熱心だ。来季に期待しよう。



会では百人ほどの出場者の中で10名が全国出場権を得た。地区大会では上位入賞したが、あいにく腕の怪我をして、全国大会は満足のいく結果を出すことはできなかった。来季にかけるとの思いはひとしおだ。